

苦情・要望 解決結果報告書

明照保育園

☆申出人氏名 5歳児 保護者

・電話 ・玄関 ・手紙 ・連絡帳 ・メール

第三者委員への立合い・報告の可否 否

【内容】

・日 時 R3年 4月28日(水)

- 令和3年度からの電子連絡帳導入について
 - 令和2年度まではお帳面（出席ブック・連絡帳）を使用し、特に3歳未満児は毎日の子どもの様子を伝え合ったり、その他全児に対しては連絡事項（体調把握）や行事に参加した感想などのやり取り等も筆記で行ってきた。今年度から電子連絡帳を導入したが、「冷たさを感じる」という思いを話された。
- 園外の展示イベントに関する内容が保護者に周知がされていなかったことについて
 - 横手駅やイオン横手店に5歳児の写真や絵画を展示されていることについて、「園から保護者に通知がなく子どもから聞いた。そこで降園時職員に確認したが、あやふやな回答が返ってきたことに不信感をもった。」と話された。
- 年度末、担任からの連絡帳記載について
 - 昨年度最終日に担任からコメント等の記入がなく「残念に思った。」と話された。

【解決結果】

- 連絡帳の電子化については、保護者の利便性の向上と職員のより良い保育、労務軽減を図るために導入を決め現在活用している。（メリットばかりではなくデメリットの部分も想定していたが、今後の社会の流れを考え導入を決断した。）けれども、電子化のみに偏ることなくお手紙の温かさも活かしながら、今後も保護者の理解と協力を求めていきたい。
導入間もない頃は、これまでのやり方とのギャップが大きく、戸惑いの声やシステムの不具合から問い合わせなどもあったが、少しずつ慣れ日常化してきているので、更に使いやすさを考えていきたい。
- 昨年度までは、連絡事項・お願いについては連絡帳に「メモ」形式で貼って伝えることが多かったが、今年度からは電子連絡帳の「お知らせ」機能を活用し、全児・個人選択（クラス単位も含む）しながら伝えるようにしていく。
他クラスの情報を職員間で共有し保護者からの質問に答えられるようにすること、また分からない場合は確認し伝えるようにすることを職員内で周知し徹底していく。
- 3歳未満児組は毎日連絡帳を通してのやり取りを行っているので、年度最終日も担任からのあいさつを記入していたが、3歳以上児組は保護者の記入に応える形で記入していたため、全児に記入はしていなかった。
平等性に欠けていたことを反省するとともに、保護者との連携に役立つご意見と捉え、今後は、保護者からの記入の有無に関わらず、年度最終日に子どもの成長を喜ぶ思いを伝えていくこととする。

【備考】（その後の様子・周知についてなど）

連絡事項は内容によって、電子連絡帳の「お知らせ」機能とお手紙を使い分け伝えるようにしている。
電子連絡帳使用を「冷たく感じる」と思われる保護者にも理解していただけるように、今後も登降園時や面談等で子どもの姿や成長を共有しながら、保護者とのコミュニケーションも大切にしている。

